

学校関係者評価委員会議事録

開催日時：令和4年5月25日(水) 13:00~14:30

開催場所：日本総合医療専門学校 1階 会議室

学校関係者委員：(1) 関連業界等関係者 4名

株式会社セリアジョブ 代表取締役 黒澤光伸

全国柔整鍼灸協同組合 東京事務所 所長 関裕之

一般社団法人 IWA JAPAN チーフトレナー 木村匡弘

ガリバー・インターナショナル株式会社 平賀修司

(2) 卒業生 2名

富岡正享・小林耕平

(3) 教育に関し知見を有する者 2名

デジタルハリウッド大学 講師 稲葉知子

樋口貴夫税理士事務所 所長 樋口貴夫

事務局：日本総合医療専門学校 学校長 齋藤貴司

同校 事務長 増子肇

I. 学校長挨拶

今回の自己点検については、特に資料の2枚目にある項目「学生支援」「教育環境」「学生の募集と受入れ」に改善を行いました。評価自体は、昨年と比べ厳しめになっております。短い時間ですが、忌憚ないご意見をお願いします。

II. 報告事項

現状報告：増子

令和3年度は、中央医療学園専門学校の教職員と日本総合医療専門学校の教職員とで日本総合医療専門学校(募集定員60名)を存続校として運営を行ってまいりました。

運営体制につきましては、学校長以下管理職も変わり会議体も変更し新体制になっております。募集人数、国試合格者数、退学者数等に関して目標に対して未達部分については、今後の検討課題を反映させた自己点検評価になっております。にしております。

III. 審議事項

1. 日本総合医療専門学校自己点検・評価について(上程者：増子)
2. 学校関係者評価委員の推薦(改選)について(上程者：増子)

事務局増子

開会宣言

本日の出席者紹介、

提示資料確認

以下説明

1. 日本総合医療専門学校自己点検・評価について(上程者：増子)

専修学校評価制度について、「自己評価」は、平成 19 年学校教育法において義務化され、本年 4 月 1 日付で制度化がなされた「高等教育無償化制度」において「学校関係者評価」の公表が条件とされており、昨年につづき本会議を開催することとなりました。本校の「自己評価」に関し、本年 5 月 16 日（月）に実施した柔道整復師養成施設に係る「柔道整復師養成施設自己点検」においては、点検事項の全てにおいて、判定は、概ね「適」になっております。実習に関する項目における、平均受験者数 20 名以上につきまして、施設内の臨床実習施設で実施している関係から「否」になっております。

また 5 月 16 日に開催いたしました自己評価委員会における、「日本総合医療専門学校自己点検・評価」について結果説明を行います。

1. 教育理念・目的・教育人材像について

「教育理念」については、平成 12 年 4 月に開校して以来、一貫しており、その後、「教育目的」「人間力形成」を定め、柔道整復師の育成を行って参りました。令和 2 年 4 月 1 日付の学校法人合併に伴い、本校は、学校法人平成医療学園の設置校となり、昨年度より同学園「建学理念」「教育理念」「教育目標・育成人材像」並びに「令和 4 年度重点教育目標」を新たに定めております。理念・目的・育成人材像は、明文化され、育成人材像・目的は、社会のニーズに適合していると考えています。

2. 学校運営について

運営方針・中期計画に則り、事業計画を作成し、資料「学校法人平成医療学園寄付行為」「同組織規程」のとおり、適切に運営を行いました。また、通知・通達項目については、法人本部と連動して、全員に周知しています。各種規程も整備しており、よりよい組織体制になりつつあると考えています。但し、事業計画を定めているものの方針転換も多く、計画どおりすすめられないところもでているため自己評価点を下げております。

3. 教育活動について

教育課程は、行政および平成医療学園関連校の意見を反映させながら編成しています。成績評価基準、指導体制は整っており、校内手続きを遵守し確実に実施しています。

授業評価については、アンケートの代わりとして学生に対する複数回の面談を実施し問題点の洗い出し、改善を実施しています。教育組織体制は、学校長・教務部長・学科長を一新し、新体制にて活動しています。

4.学修成果について

国家試験の合格率は、平均 81.0%に対し、74.2%になりました。国家試験の合格率が、平均および昨年に比べ大きく下回ったことから、要因分析に基づき指導方法の見直しの検討が必要と思います。就職を希望する学生に対しては、就職説明会開催等により卒業後の就職率は、100%達成しています。卒業生については、現状同窓会が組織化されていないため同窓会組織づくりを検討しております。

5.学生支援について

退学者を少しでも減少させることが急務と考えております。一昨年に比べると減少しているものの今年度も高い水準のため、学生に対する意識の変化を早期に把握し、早期の対応を行うために、担任・校長による複数回の個別面談を行っています。また心理面での相談にも対応しています。経済面での支援としては、公的奨学金および教育ローンに関する相談を個人レベルで丁寧に行っています。産学連携については、令和 4 年度より外部臨床実習に切り替える予定です。また、学修成果の把握については、特色ある取組ができておらず今後の課題となっております。

6.教育環境について

施設、設備、教育備品に関しては、基準は概ね満たしており教育環境は充実していると考えております。また、施設、設備、教育備品の修繕についても予算化しており、修繕に対応できるようにしております。今後の課題は、臨床実習の外部実習先の確保が必要と考えており、具体的な検討をしております。

7.学生の募集と受入れについて

学生募集活動、入学選考、学納金、入学辞退者の対応等については、適切に対応したと思います。募集人数は、目標を達成できなかったものの高等教育無償化の周知および積極的な高校訪問等により、来年度につながる運用ができたと認識しております。募集人数の確保のため、ホームページの内容の一新を検討しています。

8.財務について

財務情報の公開については、ホームページの情報公開に掲載しています。学納金比率の高い財務体質のため、退学率の低下、安定的な入学者数を確保していくことが必要と考えております。

9.内部質保証について

学校運営に必要な諸規程は整備されているものの教職員への周知については、今後検討する必要があると思われます。インターネット環境については、担当者退職に伴い、不正アクセスを防ぐためのネット環境整備が遅れているため、対応を検討しています。教育情報につきましては、ホームページに掲載し公開しています。

10.社会貢献・地域貢献について

本校は、地域社会との共存を特に重点として同区内各種団体に対し、同校施設開放を実施し、本校教育にご理解を頂けるよう準備をしておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延防止のため、施設開放にはあたりませんでした。従来から隊員として活動している教員主導で、地域所管の消防団活動への参加を行っています。

以下、各委員からのご意見 敬称省略

- ・国家試験の合格率はどのような状況だったのか。良くないと聞いているがその要因は、社会人から新卒の学生が増えたことの影響があるか。平賀
「学修成果」の項目で説明、平均 81.0%に対し、74.2%と平均を下回った
特別理由がある訳ではないと思われるが要因はいろいろある。新卒が増えているのも要因のひとつ。高校時代にあまり勉強をしたことがなく勉強方法がわからない学生も少なくなく、そのような学生のために、グループ学習を検討している。また、夜間部廃止の影響もある。クラスメイトに対して学習に対するリーダーシップを発揮していた夜間部社会人が少なくなったという要因もある。齋藤
国家試験の合格率は、どうしても年度によって上下があるが、学校開校からの水準は、高水準(合格率 80%以上)は維持できている。富岡
国家試験に向けて頑張る時期が3年生になってからというものが多いので間に合わない場合が多い。エンジンのかかる時期を早めていく必要がある。1年次から勉強をさせる仕組み作りが必要。小林
業界的には、柔整師になる憧れを早い時期に肌で感じられるようにする仕組みが必要。臨床実習を外部で行うことに期待している。齋藤
- ・退学率が高い理由は、学力低下が要因か。関
進路変更による退学者が多い。
学力不振による進路変更が多い。学力不振がなければ、進路変更ない。小林
退学者を減らすことに関しては、どの学校でも問題ととなっていることだと思いますが、他校の成功した例ですが、以下の対応で退学率を減少させた例がありました。

退学者の兆しに早期に気づき、早期の学生対応するために、毎年進路指導の調査、面談を行い、本人が決める前に学校が対応するこのやり方で、退学率の目標 10%を 6%に改善することができたと聞いています。黒澤

言われたらやるといった比較的消極的な学生が増えているため、勉強の遅れを防ぐため、自主的に、放課後勉強できるような環境にしている。齋藤

意欲のない学生に対する対策も必要なのではないか。そのような学生に対しては、レベルを下げ補講を行う。あるいはいかに興味をわかせるかが大事なのでは。平賀

- ・教育活動についてですが、接骨院からのレセプトを見ると、接骨院からの文書の読解力のなさが感じられるので、臨床実習の場で施術者としての技術力 自信をもってやってもらいたいと思う一方で、接骨院等の現場に必要な文章力等をつける教育を行っていただきたい。平賀

2. 学校関係者評価委員の推薦(改選)について (上程者：増子)

デジタルハリウッド大学 講師 稲葉知子

樋口貴夫税理士事務所 所長 樋口貴夫

の両委員については、委員の辞退があったことをご報告いたします。

他の委員の方につきましては、再任で了承されました。

新たな委員の専任につきましては、学校として依頼している状況です。

齋藤校長：本日は、お忙しいところ、本校学校関係者評価委員会にご出席を賜り御礼申し上げます。昨年度の経営並びに本校運営につきまして、本日も報告いたしましたとおりでございます。本会で様々なご意見、御指導を頂きましたことで、更に本校の運営改善に努めて参ります。今後とも御指導ご鞭撻を賜りますよう何卒宜しく願いいたします。

事務局増子：本校自己評価に基づき各委員の皆様より、其々のお立場で、ご意見ご評価を頂き本校運営に関し更に課題を見出すことができました。尚、本会の評価を基に近々の学校関係者による評価結果をまとめご報告申し上げます。

本日は、ご多忙の中、本会議にご臨席を頂き誠に有難う御座いました。

以上を持ちまして、学校関係者評価委員会を閉会致します。

別添資料

一.専修学校の学校評価制度

一.学校法人平成医療学園「建学理念」

日本総合医療専門学校 「教育理念」「教育目標・育成人材像」「重点教育目標」

一.令和3年度「日本総合医療専門学校自己点検・評価

一.令和3年度「柔道整復師養成施設自己点検票」

一.学校法人平成医療学園「寄付行為」

一.学校法人平成医療学園「組織規程」

一.日本総合医療専門学校「学則」

以上